

分野	目指すべき姿	課題	取組
II 緩和ケアの推進			
① 拠点病院等			
	<p>・ 拠点病院等における基本的な緩和ケアから専門的な緩和ケアへ速やかにつなぐ体制の整備</p>	<p>・ <u>転移・再発がん患者については</u>、患者が受けたかった時期よりも、実際に緩和ケアを受けた時期が遅い傾向</p> <p>・ 患者のつらさの内容により、緩和ケアを提供されている時期が異なる</p>	<p>・ 緩和ケア研修会を引き続き実施</p>
		<p>・ つらさのスクリーニングの定期的な実施や速やかな専門的緩和ケアへの引き継ぎについて、病院によって対応状況にばらつきがある</p>	<p>・ 拠点病院等におけるリンクナースの配置に対する支援を行い緩和ケアチームと各部署の連携を推進</p>

分野	目指すべき姿	課題	取組
II 緩和ケアの推進			
②緩和ケア病棟			
	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点病院等と地域の医療機関の連携体制の構築（病床の機能分化、在宅緩和ケアの提供） 	<ul style="list-style-type: none"> ・患者・家族が希望しても緩和ケア病棟へすぐに入院できない ・緩和ケア病棟のみでがん患者を受け入れることは困難 	<ul style="list-style-type: none"> ・回復期相当の病院に地域移行を担う人材を配置し、<u>がん患者の状況や環境に応じて必要な在宅緩和ケアを受けるための</u>仕組み（病床機能、設備、人材等）を検証 ・検証後、新たな種類の緩和ケア病床を指定し、病床の機能分化を推進 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア病床・<u>一般病床</u>の使用状況を検証し、緩和ケア病床・<u>一般病床での緩和ケア</u>のあり方を検討

分野	目指すべき姿	課題	取組
II 緩和ケアの推進			
③地域連携			
	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点病院等と地域の医療機関の連携体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療への移行を阻む要因として、地域の医療従事者等は、地域のスタッフとのカンファレンスの機会が十分でないことを指摘 	<ul style="list-style-type: none"> ・回復期相当の病院に地域移行を担う人材を配置 ・その人材を中心とし、ICTの活用等により、多職種間での情報連携を推進 ・<u>緩和ケア外来の検証</u>
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の関係機関との連携体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬局は、体制面や情報共有の不足等により、緩和ケアへの対応が不十分 ・オピオイド製剤や在庫管理が困難 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の拠点となる薬局を設置し、在庫状況の把握、調剤器具のレンタルの実施、病院及び地域の医療・介護従事者との情報共有の場を設けることなどにより、在宅緩和ケアを推進
		<ul style="list-style-type: none"> ・医療と介護の連携が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ・回復期相当の病院に地域移行を担う人材を配置 ・その人材を中心とし、ICTの活用等により、多職種間での情報連携を推進

分野	目指すべき姿	課題	取組
II 緩和ケアの推進			
④人材育成			
	<ul style="list-style-type: none"> 多職種によるチーム医療の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 介護士、医師（精神症状緩和を担当する医師）、臨床心理士、医療ソーシャルワーカーをはじめとして、緩和ケアの知識や技術を得る機会が乏しい 	<ul style="list-style-type: none"> 医師、歯科医師以外の医療従事者（<u>薬剤師、リハビリ職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）、相談職（医療ソーシャルワーカー、心理士等）、栄養士等</u>）向けの緩和ケア研修プログラムの開発及び研修実施

分野	目指すべき姿	課題	取組
II 緩和ケアの推進			
⑤ その他			
<ul style="list-style-type: none"> 小児がん患者への緩和ケアの提供 	<ul style="list-style-type: none"> 小児がんでは、がん専門病院と地域施設との役割分担が不十分 施設や人材が不足しており、情報共有体制が不足 	<ul style="list-style-type: none"> 小児がん拠点病院等が、小児がん診療に携わる医師・看護師等向けに、小児がん患者に対する基本的な緩和ケアの知識を学ぶ研修を実施 小児がん患者への緩和ケアの提供のあり方について引き続き検討 	
<ul style="list-style-type: none"> <u>高齢者のがん患者</u>への支援体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢のがん患者は、認知症等の影響により意思決定支援が必要 医療・介護の連携により地域での療養生活を支援する必要 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢のがん患者に対する意思決定支援や療養生活支援のあり方を検討 	
<ul style="list-style-type: none"> 患者・家族への支援体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 患者の家族や介護者の負担に対する医師スタッフの働きかけが不足 がん相談支援センターの利用実績や認知度が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> 患者や家族の困りごとを把握するため、東京都緩和ケア連携手帳を積極的に活用するよう東京都がん診療連携協議会の場で周知（患者の困りごとの内容に応じたがん相談支援センターの紹介） 	
<ul style="list-style-type: none"> がんに関する正しい知識の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 緩和ケアについて、診断早期から受けるケアと認識している割合が低い 	<ul style="list-style-type: none"> 医療関係者に対し、緩和ケアに関する正しい知識を啓発 都民に対し、がんになる前からがん予防、罹患後に必要な知識を啓発（<u>東京都がんポータルサイトの活用等</u>） 	